

山形村子ども読書活動推進計画

平成25年2月

山形村教育委員会

山形村子ども読書活動推進計画

目 次

はじめに	1
I 子どもの読書に関する状況	2
1 学校図書館の利用状況	2
2 児童質問紙の状況(全国学力・学習状況調査 調査対象：小6)	2
3 山形村図書館の利用の状況(全体)	3
II 基本方針	5
1 子どもが読書に親しむ機会の提供と子どもの読書環境の整備・充実	5
2 家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組の推進	5
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及	5
III 子どもの読書活動の推進のための方策	6
1 方策の体系	6
2 家庭における子どもの読書活動の推進	7
(1) 子どもの読書活動の推進のための家庭の役割	7
(2) 家庭における子どもの読書活動の推進のための取組	7
3 地域における子どもの読書活動の推進	7
(1) 子どもの読書活動の推進のための山形村図書館の役割	7
(2) 子どもの読書活動の推進のための山形村図書館の取組	8
4 学校等における子どもの読書活動の推進	9
(1) 子どもの読書活動の推進における保育園等の役割	9
(2) 子育て支援センターにおける子どもの読書活動の推進のための取組	9
(3) 保育園における子どもの読書活動の推進のための取組	9
(4) 児童館における子どもの読書活動の推進のための取組	9
(5) 子どもの読書活動の推進における学校及び学校図書館の役割	9
(6) 学校及び学校図書館における子どもの読書活動の推進のための取組	10
5 普及啓発活動の取組	10
参考 策定経過	11

はじめに

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

そのため、子どもたちが多様な本と出会い、豊かな読書体験を積み重ねていくことができるよう、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの読書に親しむ機会の提供や、読書環境の整備に取り組んでいくことが重要です。

平成 13 年 12 月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されています。これを受け、子どもたちが自主的に本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、関係機関・団体等と連携・協力し、子どもたちの読書活動の環境整備等を進めるため、今後概ね 5 年間の総合的な施策の方向を示す「山形村子ども読書活動推進計画」を策定します。

山形村の教育標語

あいさつをしよう 読書をしよう 体を使おう

I 子どもの読書に関する状況

1 学校図書館の利用状況

年 度	蔵書冊数	貸出冊数	貸出人数
平成 22 年度	13,806 冊	46,571 冊	22,399 人
平成 23 年度	14,194 冊	53,248 冊	28,829 人

前年度に比べ、蔵書数も増え、貸出冊数で 12.5%、貸出人数で 22.3%の増と なっています。山形小学校の朝読書や、地域の読み聞かせボランティアによる 学校支援活動の成果と思われます。

2 児童質問紙の状況（全国学力・学習状況調査 調査対象：小 6）

質問：読書は好きですか

年 度	好き	どちらかと いえば好き	どちらかとい えばきらい	きらい
平成 23 年度	46.0%	19.5%	20.7%	13.8%
平成 24 年度	65.4%	19.2%	13.5%	1.9%

平成 23 年度に比べ、平成 24 年度は好意的な答えが多くなっています。平成 24 年度調査では、読書は好き、どちらかといえば好きと答えた児童の割合は、 前年度と比較し 19.1%増加し、全国の割合より 12%高くなっています。一方ど ちらかといえばきらい、読書はきらいと答えた児童の割合は、前年度と比較し 19.1%減少し、全国の割合より 11.9%低くなっています。

質問：家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日どれくらいの時間、読書しま すか

年 度	2 時間 以上	1 時間～ 2 時間	30 分～ 1 時間	10 分～ 30 分	10 分 以下	全 く しない
平成 23 年度	5.7	14.9	18.4	24.1	14.9	21.8
平成 24 年度	9.6	9.6	25.0	32.7	10.6	12.5

平成 24 年度調査では、1 時間以上読書すると答えた児童の割合は、前年度

に比べ 1.4%低くなりましたが、全国の割合よりは、3.1%高くなっています。一方 10 分以下と全くしない児童の割合は、前年度より 13.6%低下し、全国の割合より 16.4%低くなっています。

質問：本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館へどれくらい行きますか

年 度	週に 4 回以上	週に 1～3 回	月に 1～3 回	年に数回	ほとんど又は全く行かない
平成 23 年度	1.1	21.8	23.0	28.7	24.1
平成 24 年度	2.9	23.1	34.6	22.1	17.3

平成 24 年度調査では、週に 1 回以上図書館へ行くと答えた児童の割合は、前年度に比べ 3.1%高く、全国の割合より 8.2%高くなりました。一方年に数回と、ほとんど又は全くいかない児童の割合は 13.4%低下し、全国の割合より 18.8%低くなっています。

以上、児童質問紙の状況から見ますと、山形小学校の児童は、読書をよくしており図書館の利用も多くなってきています。この傾向は、先に述べた朝読書や地域の読み聞かせボランティアの活動の成果であるとともに、学校図書館や公立図書館の充実が図られる中で、読書活動の推進が小学校全体に定着してきた結果であると思われます。

3 山形村図書館の利用の状況（全体）

蔵書数

年 度	児童書冊数	一般書冊数	視聴覚ソフト	計 図書 (ソフト)
平成 22 年度	6,940 冊	12,260 冊	309 本	19,200 冊 (309 本)
平成 23 年度	7,830 冊	13,839 冊	392 本	21,669 冊 (392 本)

入館者、貸出冊数及び貸出人数

年 度	入館者数	貸出冊数	貸出人数
平成 22 年度	12,287 人	25,614 冊・本	
平成 23 年度	12,770 人	27,065 冊・本	8,046 人

貸出冊数のうち、約半分が児童書の貸出冊数となっています。

本村では、山形村公民館図書室を拡充整備し、平成 23 年 8 月 1 日に公立の図書館として開館しました。従来の開架スペースに学習スペースを併設するとともに、図書館情報ネットワークを充実し、図書館利用者の一層の利便性の確保を図ってきています。また、子どもたちにも分かりやすく親しみのある図書館情報の発信や、図書館環境整備等がボランティア活動により積極的に行われ、図書館利用者の促進が図られてきています。このような状況により、公立図書館の利用者及び貸出冊数ともに増加をしてきています。



II 基本方針

1 子どもが読書に親しむ機会の提供と子どもの読書環境の整備・充実

読書を通じて、子どもたちは読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる基礎力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができます。また、書籍や新聞、図鑑などの資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる知的探究心や真理を求める態度が培われます。このため、発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり、その読書活動を広げ、読書体験を深めるような機会を提供するとともに、そのための環境づくりに努めることが大切です。

このような観点から、山形村においては、子どもの自主的な読書活動の推進に資するため、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めるとともに、施設、設備その他の諸条件の整備・充実に努めます。

2 家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組が必要です。それぞれが担うべき役割を果たすことはもとより、関係機関、民間団体等が緊密に連携し、相互に協力を図りつつ、取組を推進していくことが求められます。

このような観点から、山形村においては、家庭、地域、学校それぞれが相互に連携・協力して子どもの自主的な読書活動の推進を図る取組の支援や必要な体制の整備に努めます。

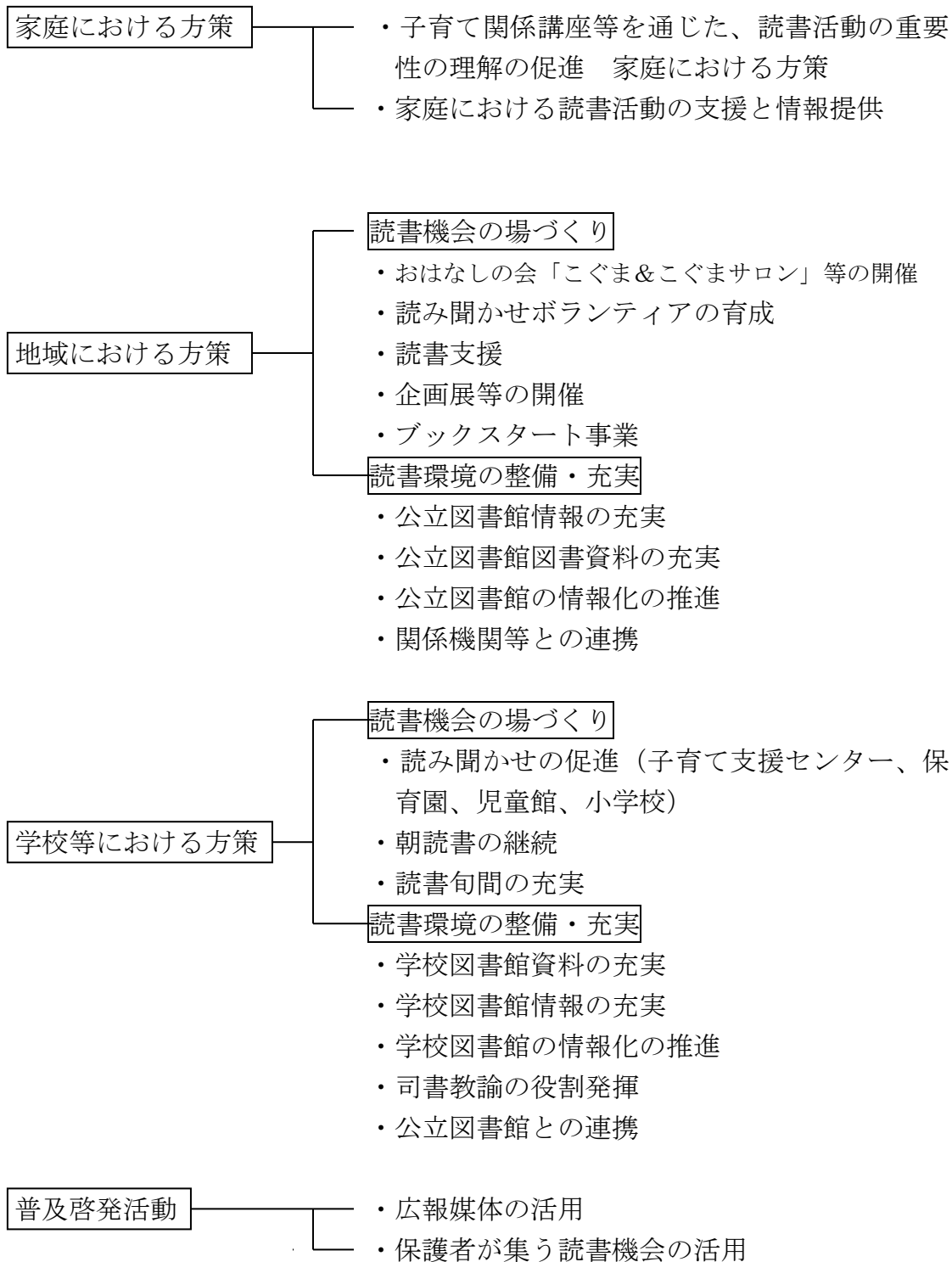
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもが自主的な読書態度や読書習慣を身に付けていく上で、子どもに身近な大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要です。このため、子どもを取り巻く大人を含めた社会全体で読書活動を推進する気運を一層高めるために、子どもの読書活動の意義や重要性について理解を広め、関心を高める必要があります。

このような観点から、山形村においては、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的気運の醸成を図るため、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発を図るよう努めます。

Ⅲ 子どもの読書活動の推進のための方策

1 方策の体系



2 家庭における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進のための家庭の役割

子どもの読書習慣は、日常の生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置付けられ継続して行われるよう、保護者が子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的に関わっていくことが重要です。

このため、家庭においては、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりするなど、工夫をして子どもが読書に親しむきっかけをつくることが重要です。また、定期的に読書の時間を設けるなどして子どもに読書の習慣付けを図ったり、読書を通じて子どもが感じたことや考えたことを話し合ったりするなど、読書に対する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけることが必要です。

(2) 家庭における子どもの読書活動の推進のための取組

① 読書活動の重要性の理解の促進

ブックスタート事業、おはなしの会「こぐま&こぐまサロン」及び子育て関係講座等で保護者が集う機会を通じ、読み聞かせや読書の重要性について理解を促します。

② 家庭における読書活動の支援

絵本の読み聞かせ会や読み聞かせ講座などを開催し、家庭における読書活動に資する取組を支援するとともに、絵本等の情報を提供します。

3 地域における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進のための山形村図書館の役割

子どもにとって村の図書館は、自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所であるとともに、自ら必要な情報を収集し、それを基に意思決定・問題解決を図るなど、読解力や情報活用能力を身に付けることができる場所となっています。

平成23年の図書館施設の拡充整備により、静かな中で学習等できる空間が確保されたことから、心穏やかな時を過ごせる場所にもなっています。一方、保護者にとっては、子どもに読ませたい本を選択したり、子どもの読書について司書に気軽に相談したりできる温もりのある場所となっています。

さらに、山形村図書館は、図書資料の情報の発信、読み聞かせ会の開催、読み聞かせボランティアの育成など、子どもが読書に親しむ機会を提供する上で重要な役割を果たしています。

(2) 子どもの読書活動の推進のための山形村図書館の取組

- ① おはなしの会こぐま&こぐまサロンの開催
毎月第1・第3木曜日の午前10時30分から正午まで絵本の読み聞かせと読書相談を行います。
- ② おはなしの会こぐま・ミニの開催
2歳児健診時に、絵本の読み聞かせを行います。
- ③ 読み聞かせボランティアの育成
絵本の読み聞かせボランティア育成講座の開設と、学びの成果を活かす機会を提供します。
- ④ 読書支援
司書が保育園や子育て支援講座等の会場で、子どもの年齢にあった本の選び方、読み聞かせの方法などを保護者に紹介します。
- ⑤ 企画展等の開催
その時々にあった内容の企画展の開催や関連図書コーナーを設けるなど、子どもたちに親しまれるための図書館サービスに努めます。
- ⑤ 図書館情報の充実
定期的な図書館だより「BOOK」の発行と、図書館ホームページを充実します。
- ⑥ 図書館資料の充実
山形村図書館協議会の意見を聴き、図書資料の計画的な収集を進めます。
- ⑦ ブックスタート事業
7ヶ月健診時に絵本をプレゼントするブックスタート事業を継続して行います。
- ⑧ 図書館の情報化の推進
電磁的記録による電子媒体図書館資料の利活用等に対応していくため、図書館の情報化を一層進めます。
- ⑨ 学校図書館及び関係機関・団体等の連携
子どもの読書活動推進のため、学校図書館への図書資料の長期的貸出しやレファレンスサービスの実施等により、学校教育への支援を積極的に行うとともに、関係機関等との連携強化を促進します。

4 学校等における子どもの読書活動の推進

(1) 子どもの読書活動の推進における保育園等の役割

幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、幼児が絵本や物語などに親しむ活動を積極的に行うことが求められています。また、保護者等に対し、読み聞かせ等の大切さや意義を広く普及していくことも必要です。

(2) 子育て支援センターにおける子どもの読書活動の推進のための取組

- ① 子育て支援講座や、地域のボランティアによる読み聞かせ等の会で、子どもの読書活動の意義や重要性について保護者への啓発を促します。
- ② 図書館や関係機関・団体等と連携し、読書活動の推進のための積極的な場づくりを促します。

(3) 保育園における子どもの読書活動の推進のための取組

- ① 保護者、ボランティア、図書館等と連携・協力するなどして、図書を整備を図るとともに、発達段階に応じた図書の選定の配慮を促します。
- ② 保護者会等の機会に、読み聞かせ等の大切さや意義についての周知を促します。
- ③ 絵本や物語の読み聞かせ等では、幼児が興味を持ち、創造を豊かに広げられるような題材選びや指導方法の工夫を行うとともに、集団で楽しむ雰囲気をつくる工夫を促します。

(4) 児童館における子どもの読書活動の推進のための取組

保護者や地域のボランティアによる読み聞かせやおはなしの会、本の紹介等の活動が推進されるよう促します。

(5) 子どもの読書活動の推進における学校及び学校図書館の役割

学校は、国語などの各教科等における学習活動を通じて、読書活動が行われてきており、子どもの読書習慣を形成していく上で、学校は大きな役割を担っています。

学校図書館は、児童の想像力を養い、学習に対する興味・関心等を引き起こし、豊かな心を育む自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能と、児童の自発的、主体的な学習活動を支援する「学

習情報センター」としての機能を果たしています。また、学校教育においては、児童が自ら考え、主体的に判断し、行動できる資質や能力など「生きる力」を育むことが求められており、学校図書館には、様々な学習活動を支援する機能を果たしていくことが求められています。

(6) 学校及び学校図書館における子どもの読書活動の推進のための取組

- ① 読書習慣を身につけさせるため、朝読書を継続実施します。なお、この場合にあっては、子どもたちの興味がわくよう、地域ボランティアによる読み聞かせも積極的に進めます。
- ② 学校図書館資料の整備・充実
子どもの豊かな読書機会を充実していくためには、子どもの様々な興味・関心にこたえる魅力的な学校図書館資料を整備・充実させていくことが必要です。このため、情報が古くなった図書資料の更新を行いつつ、学校図書館図書標準を踏まえた図書資料の計画的整備を進めます。
- ③ 定期的に図書館だより等を発行し、学年に応じた本や話題の本、新着図書を紹介し、本への興味・関心を高める工夫をします。
- ④ 読書旬間に、推奨本の紹介や読み聞かせ会の開催を、図書委員の意見を聴きながら積極的に進めます。
- ⑤ 教職員や児童等の意見を聞きながら、引き続き学校図書館の情報化を進めます。
- ⑥ 司書教諭が学校図書館の運営に十分な役割を果たすことができるよう、教職員の協力体制の確立を図ります。
- ⑦ 学校図書館支援ボランティアの育成を進めます。
- ⑧ 山形村図書館と一層の連携強化を図ります。

5 普及啓発活動の取組

「山形村子ども読書活動推進計画」を指針として関係機関と連携を図りながら子どもの読書活動の一層の推進に努めます。このため、次により普及啓発活動を行います。

- ① 図書館だより「BOOK」やホームページなどの広報媒体を活用し、読書活動の推進を図ります。
- ② ブックスタート事業や家庭教育講座など保護者が集う機会を活用し、読書活動の推進を図ります。

参考 策定経過

- 平成 24 年 2 月 17 日 教育委員会へ計画素案の提示

山形村図書館協議会における意見聴取

- 平成 24 年 5 月 10 日 計画の構成について
- 平成 24 年 7 月 3 日 具体的な計画内容について
- 平成 24 年 11 月 7 日 計画（案）について
- 平成 25 年 1 月 11 日 計画（案）について

教育委員会の審議

- 平成 24 年 11 月 29 日 計画（案）審議
- 平成 25 年 1 月 30 日 計画（案）審議・決定

告示

- 平成 25 年 2 月 15 日 平成 25 年山形村教育委員会告示第 1 号により
公表